

福島大会

平成30年7月26日(木)・27日(金)

福島県福島市 コラッセふくしま で行われました

大会主題

ことばと想いを育む 輝く笑顔のために
～子どもたちの思いやニーズに寄り添う指導や支援をめざして

<総会・開会行事・講話>



大会運営部として、時間通りに無事に運営できたことに、ほっとしました。



学習指導要領の改訂について、全体的な趣旨が理解できました。障害でなく本人が困っていることの克服に重点を置いたことがよくわかりました。

<記念講演>



和合先生から発せられる言葉は、ひとつひとつに心がこもっていて温かい気持ちになりました。



子どもの感性によって、大人が勇気づけられる、そんな素晴らしい力をもっているということを実感することができました。

<分科会>



資料と映像があり、指導前と指導後の違いがよくわかりました。



「吃音をそのまま良いと本気で思っている人は、そのままが良い。治したいと願いながらそれが叶わないときに、どうすれば良いかを考えることが私たちの仕事である。」との話を聞き、自分の行ってきた指導がどうであったかを考えさせられました。

談話指導の実際の方法について事例をもとに教えていただきとても参考になりました。



事例を通して、スモールステップで指導していく過程がきめ細やかで参考になりました。



連携分科会での、「支援に障害名は重要でない」というお話が印象的でした。まず本人が何に困っていて、どうすれば改善・緩和し自己肯定感も保てるのかという考え方ならば、障害名は重要でないと思いました。

